

# 1 市民意見公募の実施状況と結果について

## (1) 公表した案

「立川市第2次スポーツ推進計画素案」

## (2) 案の公表場所

市ホームページ、立川市役所1階ロビー、立川市役所3階市政情報コーナー4月16日まで、女性総合センター、窓口サービスセンター、連絡所、泉市民体育館、柴崎市民体育館

## (3) 意見提出期間

令和2年4月10日～令和2年5月6日 ※新型コロナウイルス感染症拡大による影響を考慮し、終了日を4月30日から延長しています。

## (4) 結果

ア 提出者数 4名

郵送	ファックス	Eメール	HPフォーム	来所
0名	0名	3名	1名	0名

イ 意見の件数 11件

全体に関わること	第1章 計画策定の基本的な考え方	第2章 スポーツ推進計画の成果と課題	第3章 計画の体系	第4章 計画の取組事項	第5章 計画の推進	その他
1件	1件	0件	0件	8件	0件	1件

ウ 市の回答結果

意見を反映するもの	市の考え方を説明するもの	その他
1件	9件	1件

※1名の方から複数の意見が提出されている場合は、それぞれの内容ごとに件数をカウントしています。

## 2 意見の要旨と市の考え方について

※1名の方から複数の意見が提出されている場合は、それぞれの内容ごとに要旨を整理しています。  
 ※類似の意見については、内容を集約して整理しています。

### (1) 意見を反映するもの (1件)

整理番号	該当箇所	意見要旨	件数	市の考え方
1	第4章	オリンピックは令和3年に開催される予定であるから、その旨、修正してほしい。	1件	ご指摘のとおり、本年3月30日に、新たな日程が決定しておりますので、該当箇所を修正します。

### (2) 市の考え方を説明するもの (9件)

整理番号	該当箇所	意見要旨	件数	市の考え方
2	全体に関わること	立川市におけるスポーツ推進委員は、各自治会から選出された役員で構成されている各地区体育会から選出されている。一見、地区体育会にスポーツ推進委員が派遣され、会長を補佐し、実技指導や助言等を行っているように見えるが、実態は地区体育会の一員である。また、地区体育会は、地域スポーツクラブの認証も受けている。素案において、地区体育会や地域スポーツクラブの呼称が度々出てくるが、非常にわかりにくい。	1件	本文中では、市内12地区の体育会が東京都から地域スポーツクラブの認証を受けていることの説明も併記しておりますが、活動内容や役割について市民の皆様によく知っていただけるよう、「資料編」の中に、『地域スポーツクラブ』の用語解説をお付けしています。
3	第1章	社会状況の変化と課題の内、「障害者スポーツの推進」の名称は「障害者スポーツの進展」ではないだろうか。現状と課題を示しているのに、“進展”などの現状を表す言葉が適切なのではないか。	1件	「障害者スポーツの推進」という表記は、スポーツ基本法に基づく国や都の取り組み項目の表記になっております。市では、東京2020パラリンピックを契機とする様々な事業を展開しているところですので、障害者スポーツの普及促進や理解啓発などの進展に取り組んでまいります。
4	第4章	学校体育施設の利用時間について、施設の利用枠を臨機応変に増やし、多くの方がプレーできる環境や楽しめる環境とするよう整えていただきたい。	1件	学校の体育館や校庭は、学校の教育活動に支障のない範囲で、団体利用が認められています。施設の有効活用を念頭に置きながら、今後とも、教育委員会と利用時間について調整していきます。

5	第4章	サッカー場が少ないため、既存グラウンドの一般団体への抽選枠の増加やグラウンド整備、敷地拡大、新たなサッカー場の開設を要望する。	1件	市ではより多くの方にご利用いただけるよう、多目的運動場を整備していますが、多様化するご要望に対し十分とは言えない状況があります。今後の屋外体育施設全般のあり方について検討を進め、令和2年度末を目途に一定の方向性をお示しする予定です。
6	第4章	中里グラウンドの横幅が狭く木々の枝がタッチラインと近く、プレーしていて危険である。また、少年用サッカーゴールは錆びてきているほか、移動するのに重く利用者の負担が大きい。利用者の安全を考えて対応してほしい。	1件	施設の状況把握や安全点検を行うとともに、必要に応じて利用団体からの声をお聞きするなどし、適切に対応します。
7	第4章	砂川中央グラウンドは砂埃がひどくスプリンクラーの設置なども検討していただきたい。特に夏は年々暑さが増してきており、熱中症対策にも繋がる。	1件	グラウンドの状態を適切に管理し、水まき回数を増やすなど対応します。また、熱中症対策については、今後の検討課題とします。
8	第4章	今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、市民のスポーツに関する考え方や様式が大きく変わったように思う。これまでの運動に加え、自宅で体を動かしたり、一人でもできる運動に注目が集まっている状況から、施設がなくても、いつでも、どこでもできる運動の提案や情報提供が必要であると考え。立川市独自のものと良い。	1件	市では、中高年齢者に意識的に運動・スポーツに取り組んでいただくため、期間限定ではありますが、立川市動画チャンネルにて「たちかわ健康体操」の動画を配信し、立川市ホームページに掲載しています。インターネット環境がない方向けにチラシを作成し、地域包括支援センター等にデータで送付し、必要な方に配布して活用していただくよう周知しています。
9	第4章	立川市でのウォーキング事業の参加者数は年々減少しています。この傾向は、他市の取組等においても顕著に表れ、中止をする所も多く出てきています。立川市においても新たな視点で市民が参加しやすい事業を検討するべきではないでしょうか。横浜市で実施している「よこはまウォーキング事業」が参考になると思います。	1件	市のウォーキング事業の参加者数は、ご指摘のとおり伸び悩んでいる傾向にありますが、一方で、本市で認定している歩行距離の記録や、到達距離に応じたの表彰に魅力を感じている市民も多くいらっしゃいます。今後は、ご提案のような先進市の取り組みも参考にしながら、より多くの市民の皆様にご参加いただける事業を目指します。
10	第4章	スポーツの定義として、「する」「みる」「ささえる」の3つの要素がありますが、立川市のスポーツ施設は、「する」の視点が重視され、駐車場や観客席等の整備や障害者へ	1件	ご指摘の点は、市のスポーツ施設の課題の一つであると認識しております。今後の施設整備を進める際、「みる」「ささえる」要素も念頭に置き、検討してまいります。

		の配慮が欠落しており、取り組んでいく姿勢を明確にすべきである。		
--	--	---------------------------------	--	--

(3) その他（参考意見として庁内で共有するもの）（1件）

整理番号	意見要旨
11	現在、新型コロナウイルスの影響でなかなか施設利用が再開されずストレスの溜まる日々を送っている。健康管理の一環として適度な運動も必要と言われている中で、公園の利用も制限され大人も子どもも体を動かすことができない。公園も小さくボールを蹴ることもできない。早期の施設利用再開を強く要望する。